

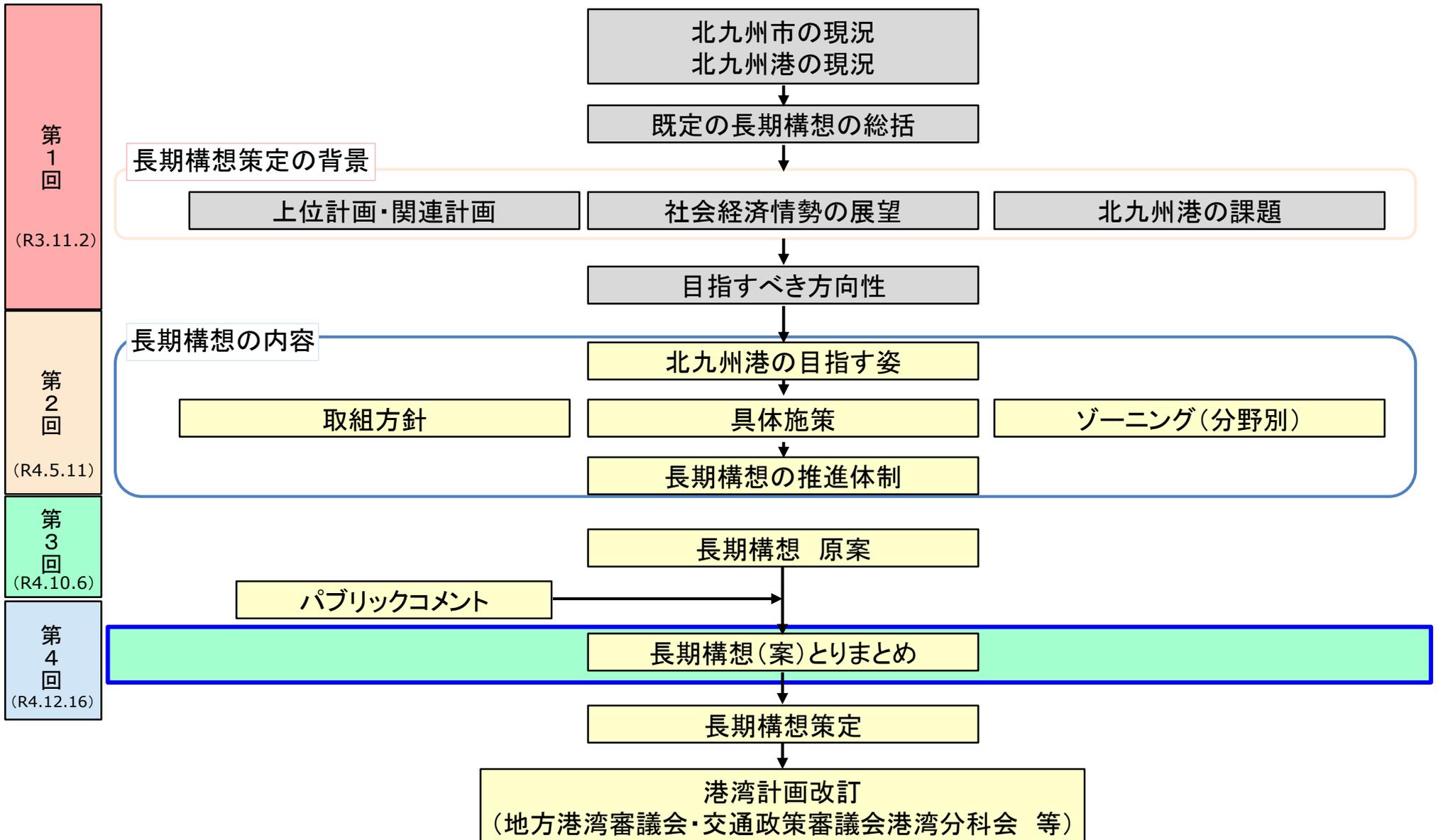
第3回委員会での主な意見と対応

令和4年12月16日（金）

北九州市港湾空港局

港湾計画改訂までの流れ

- 令和4年(2022年)中に、新たに『北九州港長期構想』を策定する予定。
- 令和5年度(2023年)に、長期構想を踏まえ『北九州港港湾計画』を改訂する予定。



第3回委員会での主な意見と対応（全体に対する意見）

主な意見	対応
<p>○「将来像」・「基本理念」・「目指す姿」が、同じような表現が重複しており、分かりにくくなっている。</p>	<p>○将来像、基本理念、目指す姿の重複部分を再度整理し、概要版P7（本編P45）のとおり、「基本理念」、「目指す姿」に改めた。</p>
<p><変更前></p> <p>【将来像】 地域経済と物流・産業を支え、「グリーン」で「スマート」な未来を創造する北九州港 ～世界とつながりSDGsを牽引～</p> <p>【基本理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸・海・空の多様な輸送モードでサプライチェーンを強靱化し、産業をリードする ・カーボンニュートラルや循環型社会を実現し、環境と経済の好循環をもたらす ・デジタル技術を活用し、地域経済や豊かな生活を支え、魅力あるまち・働きやすいみなとを実現する <p>【目指す姿】 物流・産業 「世界とつながり、産業を支えるみなと」 環境・エネルギー 「カーボンニュートラルや循環型社会の実現を牽引するみなと」 人流・賑わい 「国内外の人々が訪れ、賑わい、憩うみなと」 安全・安心 「産業活動が継続し、安全・安心を感じられる強靱なみなと」</p>	<p><変更後></p> <p>【基本理念】 地域経済と物流・産業を支え、「グリーン」で「スマート」な未来を創造する北九州港 ～世界とつながりSDGsを牽引～</p> <p>【目指す姿】 物流・産業 「物流を強靱化し、産業をリードするみなと」 環境・エネルギー 「環境と経済の好循環をもたらすみなと」 人流・賑わい 「国内外の人々が訪れ、暮らし、賑わうみなと」 安全・安心 「産業活動が継続し、安全・安心を感じられる強靱なみなと」</p>

第3回委員会での主な意見と対応（全体に対する意見）

主な意見	対応
<p>○歴史の蓄積が豊富な北九州港の特長を生かし、歴史あるまちという今まで蓄積してきたものをベースに新しいものを造るというテイストが加わると更に良い。</p>	<p>○概要版P1において、歴史の積み重ねと港の変革が伝わるフレーズの追加や体裁の改良を行うとともに、北九州港の長い歴史で培われた機能や知見を活かして、今回の長期構想を策定したというメッセージを追加した。</p>
<p>○これだけすごい歴史がある日本で数少ない港であり、この規模を有して、更に進化しようとしているということが、ぱっと見た時に分かる文言、メッセージがあると良い。</p>	
<p>○概要版P8の地域にもたらす効果とP9以降の具体施策の分野別のイメージとのつながりが分かりにくいので、整理した方が良い。</p>	<p>○概要版P8～P11のとおり、具体施策の分野別イメージの中に地域への効果を追記し、1枚にまとめることでつながりを分かりやすく改めた。</p>
<p>○ゾーニング図について、北九州港全体のおおまかなゾーニングと、地区別の詳細なゾーニングと言う2段階に分けたことは良い。 一方で、概要版P13の北九州港全体については、もっと大きなくくりで表現した方が良い。例えば、響灘地区は物流・産業ゾーンの中に環境・エネルギーなどが細かく色々入っているが、地区全体を2つの線で重ねてしまえば良い。個別の細かい所は、それ以降の地区別の資料の中で表現すれば良い。</p>	<p>○概要版P12（本編P76）のとおり、北九州港全体のゾーニングについて、大きなくくりで改めた。</p>
<p>○門司港、新浜地区のゾーニングについて、人流・賑わいゾーンとしてピンク色で塗っているが、長期構想では外れるという意味合いであれば良いが、現在は倉庫群の場所があり違和感を感じる。</p>	<p>○概要版P15（本編P79）のとおり、ゾーニングの表現を改めた。</p>
<p>○ゾーニング図において、災害に強い基幹的ネットワークの拡充に関する施策の位置関係・矢印が示されているが、オレンジ枠囲みの表記が無い。具体の施設配置はこれからという事だと思うが、この辺りだという示し方を工夫したら良い。</p>	<p>○概要版P13～P18（本編P77～P82）のとおり、耐震化を想定している位置にオレンジ囲みを追記した。</p>
<p>○地域への効果に関する資料について、目指す姿を導いていく流れにおいては、歴史と特長・社会情勢の展望に加え、「課題」も踏まえた形になっているので、課題についても表記した方が良い。</p>	<p>○本編P47, 49, 51, 53のとおり、課題を追記した。</p>

第3回委員会での主な意見と対応（各分野に対する意見）

主な意見	対応
『物流・産業』分野に対する意見	
○空港のアクセス鉄道や道路については、まちの賑わいや北九州の発展に非常に寄与するものであり、また、リダンダンシーの観点などからも、早期に検討を進めてほしい。	○本編P61具体施策「臨海部交通ネットワークの強化」に記載のとおり空港アクセス鉄道についての検討を進めていく。
『環境・エネルギー』分野に対する意見	
○環境・エネルギー分野において、カーボンニュートラルも大きな問題であるが、エネルギーの確保をどうするのかというセキュリティの問題も非常に大きくなっている。カーボンニュートラルを柱にしつつも、両輪の部分でエネルギーの安定供給にも少し触れた方が良い。	○本編P31社会経済情勢の展望「2050年カーボンニュートラルの実現」において、「国際情勢等も踏まえ、エネルギー源の多様化・多角化や燃料の安定供給を図る」という文言を追記した。
『人流・賑わい』分野に対する意見	
○もう少し暮らしやすい港づくりというメッセージを膨らませることができないか。観光が先に来ている印象を受けて違和感を感じる。観光は結果であって、まずは市民の暮らしの場を整えるのが大事ではないか。	○「人流・賑わい」分野の目指す姿の中に「暮らし」という項目を追記し、「国内外の人々が訪れ、暮らし、賑わうみなと」に改めた。
『安全・安心』分野に対する意見	
○具体施策Ⅳ-1-②「激甚化する自然災害に備えた防災機能の強化」について、海外からの観光客へのガイダンスを強化する施策が防災スピーカーだけではなく、多言語での情報発信・情報共有といった手段により、外国人でも状況が分かり、逃げる場所が分かるという事を記載した方が良い。	○本編P73具体施策「激甚化する自然災害や感染症等に備えた防災機能等の向上」において、防災スピーカーに加えて、多言語による情報提供、防災アプリ等の活用による情報伝達体制の強化を追記した。
○安全、安心の対象となっているものが地震・台風で代表される自然災害と港湾施設の経年劣化の部分になっているが、新型コロナをはじめとした感染症や世界的な治安情勢の悪化というものの身近な脅威としてしっかりとらえておかなければならないのではないかと。	○本編P73具体施策「激甚化する自然災害や感染症等に備えた防災機能等の向上」において、対象を自然災害に加え、感染症や特定外来生物等（SOLAS含む）の水際対策を追記した。